

研修修了の評価方法と合格基準

令和 5 年 7 月 5 日現在

1. 出題範囲

- ・ 指定テキスト

「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から

「(9) ころとからだのしくみと生活支援技術」まで

2. 出題形式

- ・ 選択形式 ○×形式
- ・ 記述形式

3. 出題数と配点方法

出題範囲 (科目)	選択式/○×式	記述式
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	5 問 (配点 20 点)	1 問 (配点 5 点)
(3) 介護の基本		
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	5 問 (配点 20 点)	1 問 (配点 5 点)
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携		
(6) 老化の理解	5 問 (配点 20 点)	1 問 (配点 5 点)
(7) 認知症の理解		
(8) 障害の理解		
(9) ころとからだのしくみと生活支援技術	5 問 (配点 20 点)	1 問 (配点 5 点)
合計	20 問 (配点 80 点)	4 問 (配点 20 点)

4. 合否判定基準

- ・ 合格 : 70 点以上
- ・ 不合格 : 69 点以下もしくは
各出題範囲において 0 点がある場合

5. 不合格になったときの対応方法

- ・ 結果発表後の翌日に、1 時間の補講のうえ再評価を行う
なお、再評価に係る合格基準は 70 点以上とする
- ・ 補講料金 : 5000 円 (再評価料金を含む)

※出題範囲 : 科目の範囲、テキストの範囲等を記載する。

※出題形式 : 選択式、記述式等形式を記載する。

※出題数と配点 : 出題形式の数とそれの配点 (合計は 100 点) を記載する。

※合否判定基準 : 基準点数を記載する。

※不合格対応 : 補講・再評価 (いつ、時間数) を行うか。補講料・再評価料の有無と金額等を記載すること。